

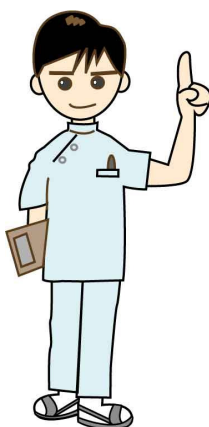
「男性看護職員研修会」

滋賀県下の男性看護職が研修・交流をとおり、自らのキャリアデザインを形成するきっかけとする。そのことで専門性がさらに深められ、働き続けられることを目的とする。

昨年も好評であった男性看護職員研修会を今年度も11月7日（金）滋賀県看護研修センターにおいて、開催致しました。県内の男性看護職が78名集まりました。午前中は、滋賀県看護協会石橋会長より「これからの看護職に期待される役割」の講演があり、その後シンポジスト4名をお迎えして、シンポジウム「男性看護師の現状とこれから」を開催致しました。会場から質問もあり活発な意見交換が出来ました。午後からは、「男性看護師の展望」と題してグループワーク・全体討議を行い、男性看護職ならではの思いなどを共有し、盛況に終わりました。



アンケートより



■男性看護師は少人数ではあるが、頼られる存在になり、キャリアアップできるチャンスがあるということを知り、これからは様々な経験を通して頑張っていきたいと思いました。性別は関係ないということを知りました。一人のプロとして働けるように努力し続けたいです。

■10年以上のベテランさんの話から1年目から訪問看護師として働いていた人、様々な方の意見を聞いて、今後の業務に活かしていきたいです。

■同じ志がある人との話はためになり、やる気が出ます。

■自分の看護師キャリアについて、全く展望を持っていなかったもので、今日この研修に参加して考えるきっかけとなり、良かったです。



今後の研修希望は？

- ◆男性看護職員研修が定期的に開催し、続けてほしいです。
- ◆グループワークでは、経験年数が色々と様々な話を聞かして頂けたので、色々参考になり、これからはこういった話の場を持ってほしいです。
- ◆男性看護職のあり方の研修もしてほしいです。



男性看護職の皆さんへ



今年度、2回目の男性看護職員研修会を開催しました。全看護師数に占める割合は少なく、マイノリティである状況は、変わりないです。一日をとおして、今後の男性看護職としての展望の1つとなったのではないかと思います。これからは自分に向き合って看護の質向上へ邁進してほしいと願っています。